

(寫)

會 報

創 刊 号



滋賀県老人大学校同窓會

会 報

創刊号

目 次

ごあいさつ	会長	大橋儀平	1
式 辞	校長	武村正義	2
沿 革			4
昭和五十五年度会計予算			4
会員の近況			
園芸科便り	理事	熊谷清一郎	5
陶一会生の近況	理事	田中誠三	7
生活科学科の会合	理事	園田満寿	9
心のひろば		福祉学科	11
名 簿			17
老 大 便 り			20
老 大 の 沿 革			
(あ と が き)			

表紙絵

県教委学校教育課参事 川原林徳一先生

滋賀県老人大学校同窓会々則

第一条（名 称）

本会は、滋賀県老人大学校同窓会と称する。

第二条（会 員）

本会は、滋賀県老人大学校卒業生をもって組織する。

第三条（事務所）

本会の事務所は、滋賀県老人大学校本部内におく。

第四条（目 的）

本会は、会員の親睦・研修および老大の発展に寄与することを目的とする。

第五条（事 業）

本会は、前条の目的を達成するために、左の事業を行なう。

一、総 会

二、研修会

三、老大後援活動

四、会報の発行（年一回）

五、その他の事業

第六条（役員および役員を選出・任期）

本会に次の役員を置く。

会 長 一名

副会長 一名

理 事 八名（各学科から二名）

幹 事 二名（会員・事務局から各一名）

監 事 二名

役員の選出方法

会長および副会長は、理事の中から互選によって選出する。

理事は、各学科から二名を選出する。

幹事は、会長が委嘱する。

監事は、各学科が交替で二名を選出する。

役員の任期

役員の任期は二年とする。

第七条（経費および会計年度）

本会の経費は、会費をもってこれにあてる。

会費

会費は、会員一人当たり年額一〇〇〇円とする。

会計年度

本会の会計年度は、毎年度十月一日から始まって

翌年の九月三十日をもって終わる。

付 則

本会則は、昭和五十五年十月一日から施行する。

ごあいさつ

会長 大橋 儀平



このたび滋賀県老人大学校同窓会が発足しますにあたって、皆さまのご推挙をいただき、浅学菲才の身が初代会長を勤めさせていただくことになりました。まことに光栄に存じますとともに、その任の重さをひしひしと感じている次第であります。

今後は、会員皆さまをはじめ関係方面のご指導ご鞭撻を仰ぎまして、本会の目的達成に努力いたしたいと思っておりますので、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

今回、本事業の一つとして、同窓会報を創刊することいたしました。これに際して、県老人大学校長殿から、卒業日にいただいた式辞を、創刊号に掲載、ご多用の日々にもかかわらず玉稿をお寄せいただきまして、本会活動の意義を一層高めてくださいましたことに対し、会員皆さまとともに深く感謝申しあげます。次第でございます。まことに有難うございました。

会員皆さまにおかれては、例年になく豪雪に見まわれ

る等、何かと御苦勞の多かったでしょう時に、ご健勝にそれぞれの地域・立場で活動いただき、社会参加にご尽力いただいてきましたことを、心からおよろこび申し上げます。

また、会報創刊につきましても、各科が、委員さんを中心にして卒業後の近況編集等にご協力いただき、創刊を飾ってくださったことに厚くお礼を申し上げます。

同窓会の活動はこれからであります。互いにこの世に生を享けて今日あるを喜び合い、手を取りあって進み、会としても、個人としても、社会から役立てていただける愛される存在として、生きがい創造することにつとめたいものであります。そのためにも、一日三省の心を忘れず自らを高める修養に励ぎたいものです。

同窓会事業も、老後輩諸賢から親しまれ、期待されるものであるように、会員各位の衆知を結集して価値高いものにしたいと考えます。ご協力を切にお願い申し、また、老大会展と皆さまのご健勝をお祈りしましてごあいさついたします。

式

辞

滋賀県老人大学校長 武村正義



卒業生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

昭和五十三年秋、県下各地から向学心に燃えたみなさん方を、第一回の入学生としてお迎えしてか

ら、早くも二年が経過いたしました。

この間、初めての試みであり、学習施設としまして必ずしも理想的な環境に恵まれなかったのですが、試行錯誤のもと、みなさんの学習に対する強い熱意に支えられ、本校は二年制へと発展しましたが、みなさん方が様々な困難を乗り越えて勉学に励まれ、きょうの栄ある卒業式を迎えられたことに對しまして、大きな感動とともに、心から御祝福申し上げます。

申しあげるまでもなく、我国は急速に高齢化社会へと移行し、高齢者問題、わけても老年期をいかに生きるかということが大きな国民的課題となっております。

人生五十年といわれた時代の理想的な老年期のあり方

として、江戸時代の代表的な儒学者貝原益軒は、その著書「養生訓」の一説において、「老の身は余命久しからざることを思い、心を用ふることわかき時にかわるべし。心しずかに事少なくて、人に交ることも稀ならんこそあひにあひて宜しかるべけれ。」と述べておりますが、「人間五十を過ぎればできるだけ人と会うのも避け、心静かにして、分相應に隠とんして暮すのがよい。」という非常に消極的なものであります。

しかし、人生八十年といわれる現代に生きる老人像は全く別のものであります。高齢化社会における望ましい老人像として、私どもが期待いたしますものは、趣味なり、仕事なり、社会活動なりに自らが生きがいを見出し、社会とのかかわりの中で積極的に生きていくという主体的な老年期の過ごし方であります。

人間は完成することのない一つの可能性だと言われております。自らの可能性を探求し、自分自身の完成に向って歩み続けようとするとき、人は常に老化から遠ざかるのではないでしようか。

六十の坂を越え、新しい知識と出会いを求めてここに集まっていらいしやるみなさん方は、現代にふさわしい主体的、積極的な老年期を生きていらいしやるわけであ

りまして、後に続く私どもにとって、一つのお手本ともいえます。

どうか、その、好奇心を失わない若々しい柔軟な精神をいつまでも持ちつづけていただきたいと思います。

さて、みなさんは、滋賀県老人大学校の第一期の卒業生であります。一つお願ひしたいことがあります。それは、みなさんが、この二年間の学習成果をそれぞれの地域において発揮され、福祉の担い手として、それぞれの立場において活躍いただきたいということであります。そして、人生経験豊かな年輪につつまれたみなさんの貴重なご意見を、混迷した価値観の中で迷う若い世代にぶつけていただき、いつの世にも変らぬ人間としての基本的な生き方について、教えさとしていただきたいと願っております。

みなさんは、本校が社会に投じた最初の試金石であります。

みなさんの今後のご活躍により、本校に対する県民の評価が高まり、その存在の意義が高らかになることを願っております。

私どもも在校生と相携え、内容の充実と校風の樹立に努める所存であります。

最後に、入学のときにお贈りした言葉、「老いて学べば死すとも朽ちず」という佐藤一斉の言葉をはなむけとしてみなさんにお贈りし、卒業のごあいさつといたします。



同窓会沿革

	S 56 ・ 2 ・ 21	12 ・ 1	年 ・ 月 ・ 日
<p style="text-align: center;">3 ・ 25</p> <p>○昭和五十五年総会開催 会務報告 予算案の審議と承認 当日の老大大公開講演に出席し研修する。</p>	<p>○理事会開催 総会日程の決定 予算案の審議と作成(別表) 会報形式の決定と執筆要領の決定</p>	<p>昭和三十五年総会日を決定 (S 56・3・25)</p> <p>○同窓会役員会開催 会則第五条(事業)の具体化について協議</p>	<p style="text-align: center;">S 55 ・ 9 ・ 22</p> <p>○滋賀県老人大学校同窓会の設立総会を、草津市社会福祉センターにおいて、第一期卒業式終了後に開催。 会則案の審議と承認。 役員選出</p>

摘 要

昭和 56 年度 会計予算 (案)

収 入

滋賀老大同窓会

科 目	金 額	摘 要
会費	78,000 ^円	会費 1,000円×78人×1回=78,000円
寄附金	2,200	広告料
繰入金		
繰越金		
雑収入		
合 計	100,000	

支 出

科 目	金 額	摘 要
報償費	5,000 ^円	講師謝金
旅費	3,000	調査研究旅費
要費	60,000	印刷用紙・会報150円×300部=45,000円 表簿印鑑等
役務費	10,000	切手・封筒等通信連絡費 会費振込手数料
会議費	2,000	理事会等(6回)
研修活動費	7,000	老大大公開講座参加材料費 研修推進費
交際費	4,000	会長渉外活動費
賃借料	4,200	会議場借用料(6回)
雑費	2,000	
予備費	2,800	
合 計	100,000	

〔会員の近況〕

園芸科便り

一期卒 熊谷 清一郎

「梅一輪、二りんほどのあたたかさ」

のとおり、早や野山の木々にも春の息吹きが感じられるようになった。こんな頃の二月十一日園芸科卒の有志八名は、鉢植えの古木として全国に有名な長浜の盆梅展を見学し、ついで懇親会を開催した。卒業後初めての会合でもあり、会員の消息やよもやま話に興をわかし楽しく一日を過ごした。

しかし、出席者が少なく寂しかったので、次回にはできるだけ多く、ご足労をお願いしたい。

なお、長浜地元の高木三雄氏から当日の模様を寄稿して下さい、ありがたく掲載させていただきます。さらに東京へ転宅された山本長夫氏からも「滋賀の里を恋う」と題した玉稿を頂戴したので、併せて創刊号の一頁を飾りたい。



「盆梅に集う」

連日の好天にも拘らずその日は意地悪く二十糶の新雪に加え、雪の舞う日であった。そんな日にもめげず初志貫徹の同志八名は長浜の慶雲館内にある盆梅展に集った。五分、六分あるいは八分咲きの紅白の老梅円周二・三米もある鉢に植えられた巨木に見事に咲いた野梅系の美しさ、園芸科卒のわれわれは魅せられたように賞美堪能して展示場を後にした。

それからは予定通り念願の懇親会のため付近の浜湖月に入り店自慢の料理を味わいながらいつしか話は懐旧談となる。

二カ年の老勉強の成果の程もさることながら、話はずっと昔の思い出になる。

ある人は会社で幾百人の若い女子を輩下にしての苦労話。ある人は海軍人として世界主要港に上陸した時の微笑談。その他今のお面相では考えられない物語りに、時折り吹きつける雪をご馳走に、加えて熱いお神酒が喉をうるおしてくれる。

なお、終りになったが、熊谷さんのお話では学級紅一点の岡さんが昨年末に神経痛で大津日赤に入院された由、在学中はお元気だったのに、卒業と共に気がゆるみ

古木梅人を迎えて春を告ぐ

盆梅展 老大同期 寄りつどう

(長浜市 高木 三雄)

「滋賀の里を恋う」

東京武蔵村山市 山本長夫

去年湖城今年は富士の初日影この句は滋賀と東京とを結ぶ気持を年頭の賀状に托して滋賀の皆様に捧げたものである。

滋賀在住の四年わけても老人大学の二年間は私にとって忘れ難い思い出が残された。ただ卒業式を二カ月後に控えての東京転居は今でも心残りの一つ……

それから半年の月日が流れたが、老後の生き甲斐として園芸と俳句の道は変わりなく歩み続けている。ただ大好きな釣りが続けられないのは残念。現在の東京は住みよい所ではあるが私にとっては滋賀の里がより楽しみに恵まれていた様に思う。朝夕滋賀の里の面影は忘れられない。

ましたか？ 同系の病では先輩の私から精々ご養生、お元気になることを祈念して筆をおきたい。

是からは老人大学の同窓生を末長く結ばれた心の友と

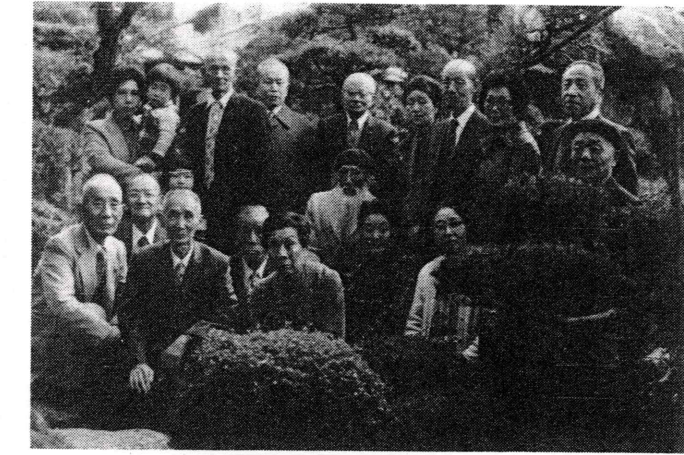
して生きてゆきたい。園芸科に贈る詞として「目に見えない土中の根が美しい花を咲かせる」と……



陶一會生の近況

一期卒 田中誠三

我等陶一會—陶芸会



第一期卒業生の同級会—の第四回目の集いは湖東班の当番で、近江温泉に一泊、湖東三山巡りと、一昨年陶芸教室で大西先生御指導のもとに作った抹茶を持ち寄って、同級の裏千家宗匠藤田氏のお手前で茶会を催そうと云う風雅な計画が立てられて居ったので皆その日を待ちわびていた。

さて一同は秋も更けた十一月二十六日朝彦根と豊郷の

駅に集合、近江温泉提供のマイクロバスで先ず班長の西村氏宅へ。

立派なお庭を配した広いお座敷で早速茶会を開いて頂いた。

茶道について何の心得もない野郎も居る事とて、そこは同級生のよしみで藤田宗匠をつかまえてお茶の作法を教はる者もあり、いともなごやかなひと時を過し、お庭で記念撮影をして、剛輪寺荘へ。ゆっくり中食をとり、又車で西明寺と金剛輪寺に参詣し近江温泉へ。新装なった岩風呂で今日の疲れを落とし、久し振りの会食に歓を尽す。今回の会合には恩師大西先生が所要の為又藤居趣門氏がお寺の御用、音居栄次郎・山上久一両氏が御都合で見えなかったのは残念でした。一行は辻井美代・平田幸大橋光・石川まつ江・垣貫貞・谷口光子の六女史全員と、加藤悟・藤田弥治郎・糟井五一・中村亀市・清水義一・西村浅次・小松正・池田七郎・村上忠雄・今井満・田中の十一名の男子、合計十七名であった。翌二十七日も温泉の車の厄介になって百濟寺と石馬寺へ詣り午頃能登川駅で三々五々別れたのでしたがまだ名残尽きない面々も

あつたと見えて、大津まで足をのぼし、会食・快談したグループもあつたよう。私達陶一会の仲間揃いも揃って気立のよい、うまの合う者ばかりの仲よしグループで、たった二カ年の老人大学の附合いであるにもかかわらず十年の知己の如く、厚い友情に結ばれ、而も習い覚えた陶芸に魅せられて、「老人大学を四年制に延長してくれ」と県に頼み込んだりもしたが、聞き入れられないままに止むなく碧水荘の所長さんに頼んで一般陶芸生として入学、引き続いて粘土いじりを楽しんでいる始末。そこえ生活科の卒業生の方が「我々も仲間に入れてくれ」と割込んで来られ、現在二十五名が一組となって指導を受けています。月の内二日乃至三日水口まで通って、時の経つのも忘れて―陶芸にこそしんで居り、うっかりすると、まだ老人大学に通っている様な錯覚をおぼえる事があるのです。

次の陶一会は湖西班の当番になっています。この春にはすばらしい計画を立てて皆さんに喜んで頂くように思っています。

只今の処、全員元気でこの厳寒に堪えていて下さる

趣、有難い事、又会う日迄自愛を祈る。



生活科学科の会合

一期卒園 田満寿



老卒業後
早や半年を経
過しましたが
同窓生の皆様
も元気で過
しのことと存
じます。

わが生活科
学科でも老大
で学んだこと
などを回顧し
つつ次のよう
な諸会合をも
っておりその

内容は次のとおりです。
昨年十一月十一日老生活科学科梅本先生の刺しゅう

展が大津で開催されたので、同窓生が期間中連れだって見学いたしました。

先生は創作手工芸に御熱心な研究家であり、二十三年に早くも全国手芸展で文部大臣賞の榮譽を受けられ、その後連続特選五回、又滋賀県美術展でも続けて特選、両工芸部門の無鑑査となっております。

今回の会は過去三十年間の力作を纏めて発表された意義深い展示会であり、彩色目もさめるばかりの美しい刺しゅうの衡立や額、風炉先屏風等色々の糸や布を使って衣類、帯地に加工をされた数十点にのぼる作品が陳列されて、いづれも見事な出来ばっかりで場内に入らやアッと人々を驚かせていました。来会者は多く殊に若い方々が一層華かで会場をうめつくして大盛会でした。先生の作品を集めた色彩の立派な記念写真帳を頂きましたが私達生涯の宝として長く保存いたしたいと思っています。

(三浦記)

一月十九日初のクラス会を共済会館「びわこ」で開きました。厳寒の折にも拘らず多数お集りになり和気あいあいの内に楽しい一日でございました。

卒業してからまだ三月しかならないのに、長い間お目にかかっている様ない様な気持ちでなつかしく種々語り合い、何才になっても学び舎の友人って全く竹馬の友という感じでありました。お得意のど自慢から、おどりも出していただき時のたつのを惜しみつつ次の会合を約束してお別れしました。

各科のクラス会が盛会である事が、老大同窓会を大きな大木に育てていくのだと思います。有意義なクラス会が出来てほんとうにうれしゅうございます。終りにみんな三桁までの健康を祝福し乾杯をいたしました。

本日欠席の方々も次の回には是非おいで下さって今回の楽しい会合であるようお祈りいたします。

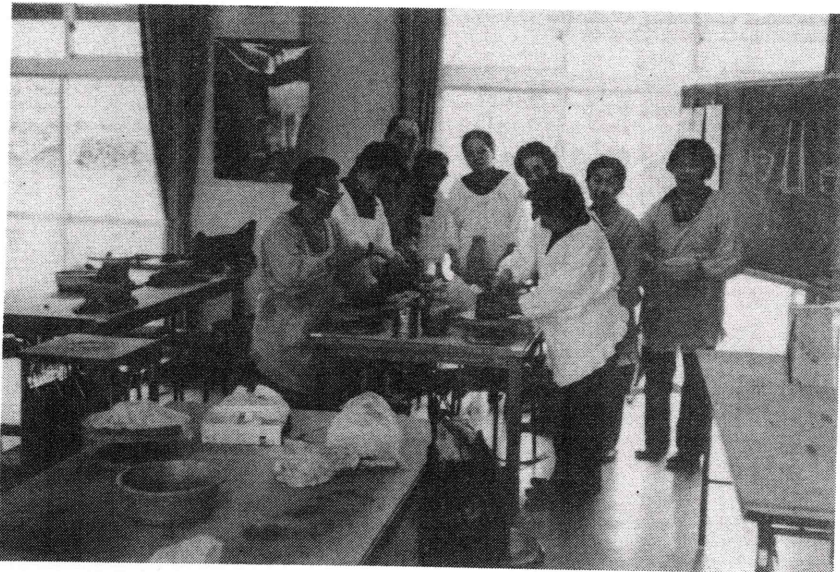
(菅原記)

昨年十月以来有志諸氏と水口碧水荘で陶芸科卒業の先輩等と共に陶芸に勤しんでおりましたが、二月以降は大津在住の方の参加を得て陶作に励んでいます。

陶芸と名は大それたものですが今は土いじりを楽しんでいる程度です。

幸い良い先生に御指導をして頂き今少したてば傑作が出来ることを確信しております。

その他一月八日に大津在住の有志の方々と同窓生広田宗匠の宅において初釜の催しがありその後時々おけいこをしておられます。自作の茶碗でお点前？という粋な所作が出来る日も真近です。



心のひろば

福祉学科

県老人大学校同窓会の会誌を発刊するにあたり皆様から沢山さまざまなお便りをいただきましたので、着順に綴り合せて「心のひろば」と名づけることに致しました。駒井さんと増田さんからのお便りはなかったのです。

役に立つ役

田中由己

晴耕雨読といたいが、仲々そんな調子にはいかない。老人クラブの理事会が二十日になって、二十一日には分会の役員会、二月一日は単位クラブの総会、席上新年度の事業方針や役員改選など：一応お役に立つのか、どうかは知らないが結構忙しくやっている。其の間暇をみて点滴のため病院へ—もう二年位は点滴をやり通しているがまだ「良ろしい」という言葉は聞かない、どうも面白くないことである。しかし皆さんと一緒にクラブ連合会で

も役に立つように、うまく使ってくれる、おかげで本日も適当な研修と運動をさして頂いている。二月十六・十七日には愛知県の海部郡の福祉センターへ研修旅行だが「ドクターストップ」が今度も出るような気がして……しかし、まずまずの毎日である。

若さを誇る

仁科政夫

この寒空の中を民生、児童委員として地域活動や部落の使い走りにバイクで駆けずり廻って若さを誇っております。

同窓会の皆さんとお逢いすることが何よりの喜びで恋人的ごとく、日々を過しています。

頑張つてゆく

吉川豊

いま民生、児童委員を委嘱され、老人クラブ、学区老人クラブ会長、大津市被爆者友の会々々長等々を引き受けて、大学で学び得たことをいささかなりと還元奉仕しています。

おかげで健康に恵まれていますので、今後とも頑張つていく覚悟です。

地場産業の振興

勝木 嗣治

昨年七月より県の新規事業である中小企業技術振興のための技術アドバイザー制の実施に伴ない、繊維部門の技術アドバイザーとして県より委嘱され、滋賀県内の繊維業界のため頑張っています。尚自宅で地場産業の有線ビロード生産に精を出しています。

恥 じ 入 る

児島 こと

ぼう大な広辞苑の完全点訳に挑む。一月四日毎日新聞の記事。

広島県福山市の主婦(四五)で子育てが終った時点から点訳を志し、すでに二十八書を点訳して図書館に納められたが、今年は国際障害者年、目の不自由な友達に「読書の杖」と挑戦されたよし。「あ」「い」……と部毎に半年を要するそれで五万頁順調にいつて二十五年はかかり、七十歳になられる。まことに気の遠くなるような作業。

私はこの記事を読んで感嘆敬服ただただ頭が下る思い

でした。

多少福祉に関心を持ち、ちよっぴりボランティア活動に精進しているつもり自分の貧しさ。

この方の爪の垢にも及ばぬ事を衷心恥じ入っているこの頃です。

中国への旅

井狩 忠之

お陰様で至極元気しております。昨年から学区の公民館長を仰せつかり、目下新館を建築中で案外に多忙な毎日です。

夜の会合が多いのにはいささか閉口です。

兵役時代に現地で学んだ中国語の復習を心掛けておりますが、いかにもあやしげなものです。出来れば中国に旅して見たいと思っていますのですが……。

鶏飼いと資本論

河瀬 義夫

この正月から始まった滋賀県労働者学習協議会主催の「資本論講座」に大枚金壱万円の受講料を払って申込みました。

私の貧弱な本棚の中に敗戦後すぐ店頭に出た「マルクスの資本論」が十冊も買い入れたまま三十数年間も眠りつづけていたのです。月一回第三日曜日に大津まで出かけて若い人々の中にまじってもう一度若い血をたぎらせて難しい資本論に向っています。講師は前滋賀大経済学部の部長有田教授です。

老人大学では大先輩の沢山いる中で小さくなっています。したが、今度の学校では五十人の定員の中で私が一番の最年長です。

鶏飼いの私がマルクスの資本論と取組んで何を得んとするのか。私は私なりに生命の終るまで最後の最後まで勉強をいたします。そしてまだまだ若い人類の歴史の中に一歩でも半歩でも前進に役立ちたいものです。

情

歌

三家久七

過ぎし一年夢醒め明けて 又も逢うせの同窓会
いづれおとらぬ白髪揃い 明治大正の知恵の友
心うれしい同窓会に 祝う旧友の晴れ姿
思いもよらぬ大雪落し 友を安じて汗を拭く
やっと晴間で寒さもとけて 固い薔みも咲き薫る

皆んな笑顔でお達者ですと ちよっと一杯楽天地
便りは賀状で交したけれど 嬉しい会誌で映える筆

比牟礼同窓会

中村 弥平

旧臘十二月七日近江八幡老人憩の家で滋賀県老人大学の在校生と卒業生で組織する「比牟礼同窓会」の創立総会を開き会則を定め、役員五名を選任しました。会員数は二十四名です。

仕事に取組む

渡 辺 進

一昨年会社を病気退職してからは僅かな年金を頼りに耐乏生活の毎日を送っている状態です。

お陰様で最近体調も整って参りましたので過激なことは出来ませんがぼつぼつ第三人生の仕事に取組みまだまだ稼がねばと思っています。

〃比良の雪 掬をゆるめ 輝やきおり〃

忙しさが健康

橋本郡次

お陰様で私は至極健康で信仰の道に入ると共に老人会の役員、部落の役員等にて家庭にゆつくりとくつろいでいる間もない忙しい毎日を送っております。

これらの忙しい毎日が健康につながっているとも考えられますので役員任期中は一生懸命に努力していくつもりでおります。

念願の一端に

西村義夫

去る一月下旬に石段で右足を踏みはずし転倒、強く捻挫して歩行困難となり、目下療養の毎日を送っておりますが遂次快方に向っております。

私は今まで重病のため生死の境を彷徨すること三度、又家庭的にも幾多の苦難に耐え、今生かされていることに深い感謝を捧げると共に報恩の心でいっぱいです。

私達老人にとって何よりの幸せは、健康に恵まれて暮しの安らぎを得ること、又自らの能力を再開発して老人や社会の福祉に貢献し、そこに生きがいを感じることにあ

ると思います。

ここに基盤を置いて、老人クラブ活動の充実発展を期して行きたいと念願しております。

充実した生活

中西清三郎

現在も庄和製作所滋賀工場に第二の人生を求めて既に三年有余元気で働いております。

余暇を見ては二十有余年習い覚えた日本舞踊をおさらいしたり、ゲートボールを楽しんだり且つ又老人クラブの活動にお陰で健康で充実した生活をさせて頂いております。

近況

小川孝雄

節分も過ぎ立春も去り少し春めいて来ました。でも何分にも今尚四方の山々、あたりのたんぼなど一米近い雪が積っているため、雪の面をなでて通って来る風はとても冷い感じで体がついすくみませんが、嬉しい事に積雪の底の方よりチョロチョロと雪の解けて流れ出る水に春の息吹きを感じます。

そんな雪を少しづつ崩している今日この頃です。恵まれた健康で毎日を過して居ります。

そして自分の仕事に精進致しております。

山里に 町の便りが 春をつげ

私の旅

井 関 庄三郎

今日七十五才に至るまで随分いろんな旅を続けている満洲、朝鮮の一人旅、次は北海道秘境めぐり、結婚してからはたいがい家内同伴、どんな旅にもいろいろな思い出があり、又思ひ出の無いような旅は無意味だと思っている。又意外な所で意外な歴史に出合うことも多い。北海道の松前や、江差、釧路には近江商人の活躍したことが等々。温泉地に行く目標を一五〇カ所と決めたがその目標をはるかに越えて今年中に二〇〇カ所に達する。長生きして目標を伸すつもり。灯台守の苦しさや喜びを聞いて六十二カ所、古城や城跡八十カ所を巡っている。

城には必ず歴史がある。名君の居った所には必ず人物が輩出し、その土地には何らかのよい影響を与えていることを考え、古都の重みを知って町の老人会、文化協の方々と共にふるさと作りに死ぬまで働きたいと思っている。

社団法人シルバー

吉 田 貞 雄

人材センター大津市高齢者事業団の設立について

この事業団は昨年十二月十一日に百人を越える方々の出席を得て設立総会が開催され会員一同は張りきっておられます。

大津市高齢者事業団の設立は近畿で初めてです。すでに勤めをやめた方、家業を子供にゆづった方、そしてなお健康で何か仕事をしたいと考えている方が、自分の住んでいる地域で自分の能力や経験を活かして働き、仕事に見合った報酬を得ながら地域社会の発展に貢献していく団体です。高齢者向きの仕事を引き受け、会員は希望に合った仕事を会員のみんなが協力して自主的に運営されます。

丸 市 喜 好

暦の上では二月四日が立春ですが、なおきびしい寒さがつづいています。今年には北部で豪雪、それで難渋している方もたくさんおられます。

しかし、もうしばらくの辛抱、やがて待望の春がやってきます。

日々、山道を歩きながら日本の自然の豊かさというか、素晴らしさをつくづくと味わいかみしめているのです。

毎週金曜日には絵画を習い、月に一度は町の大学講座でさまざまな勉強しております。

健康で豊かな生活を営むことは人間の共通した願いです。

その健康を創るということで、二千年の歴史をもつ高麗人参について現在医学の教授グループで最も新しい成分を発見しています。

高麗人参（正官庄紅参）の持つ不思議な薬効にとりつかれて、優れた医薬品を扱っていることを誇りに思っ努力しています。

貧しくとも心豊かなれ。この精神で「いるほどに風がもてくる落葉かな」の日常生活をつづけていくつもりです。



〔会員名簿〕

◎ 学科委員

第一期 学生

園芸学科

甲・甲西町針

滋・志賀町南小松三二八

八・上平木町一五二二

彦・竹鼻町

東京・武蔵村山市

彦・千尋町

守・浮気町一九五―五

甲・水口町城内二―一七

神・能登川町栗見出在家二一九

東・びわ町南浜

近八・北津田町一〇六六

近八・中小森七九〇

草・山寺町六八〇

長・分木町一―一八

伊・木之本町木之本

大・西の庄一五―五七―三〇三

昭和五十五年九月卒

◎ 熊谷 清一郎

桐畑 留次郎

周 防 安 次

米 谷 藤 太 郎

山 本 長 夫

浅 野 実 誠

西 村 秀 吉

岡 　　う た

井 口 新 作

中 川 博 三

前 出 馬 吉

山 本 由 二 郎

宮 地 太 一

高 木 三 雄

下 川 正 之 進

加 藤 義 二 郎

大・際川二丁目四―二九

野・野洲町野洲三〇九―六六

長・大宮町五―六

陶芸学科

犬・豊郷町八町九六五

伊・西浅井町八田部三二三

神・永源寺町高野七六二

高・高島町高島一三七二―二

八・金屋二丁目一―四

蒲・蒲生町蒲生堂五八一

伊・高月町字唐川

守・守山町六四九―一

甲・水口町梅ヶ丘一―二七

近八・出町二丁目七四―一

近八・西生来町一―二三

草・西大路町一三―八六

大・逢坂二丁目三―一八

坂・米原町米原二三三

下 司 清

永 井 新 一

西 堀 太 二 郎

西 村 浅 次

清 水 義 一

糟 井 五 一

村 上 忠 雄

加 藤 悟

池 田 七 郎

藤 田 弥 治 郎

今 井 満

石 川 ま つ 江

谷 口 光 子

中 村 亀 市

垣 貫 貞

平 田 幸

大 橋 光

坂・米原町筑摩

滋・志賀町南船路五七

甲・甲西町菩提寺雨山三三九一二四

大・野郷原二丁目三二一二

蒲・龍王町山之上三三三二〇

彦・栄町二丁目五二三四

生活科学科

愛・秦荘町蚊野一六八一

高・高島町上永田九〇〇

蒲・蒲生町川合八八七

彦・安清町七一九

守・金森町城の下一四〇一一一八

蒲・安土町下豊浦五〇一四

近八・東川町二〇三

近八・魚屋町上四

草・大路一丁目一八一二四

大・大谷町二三一二二

大・横木一丁目二一六

◎

藤居趣門

田中誠三

辻井美代

小松正

山上久一

音居栄次郎

近八・堀上町四一五七

近八・永原町上一〇

栗・栗東町出庭三二七一一

大・追分町一三一二

大・鳥居川町一〇二三

長・加田東町二五〇四

大・横木一丁目一四一三

大・中央一丁目七二七

福祉学

北村ちよ

白崎喜久

松吉敏江

北川三枝子

伊藤満さを

井田きぬ

山本秋子

喜多川りう

三浦郁

廣田きみ

菅原とみ

大・甲良町長寺

高・新旭町熊野本一一八七一三二

神・五個荘町中出町

愛・湖東町北菩提寺六九二

甲・石部町石部四六七三

野・野洲町高木

甲・甲南町新治

愛・愛東町平尾五六一

高・安曇川町常盤木一二四〇

◎

神田隆子

犬井春子

園田満寿

津山ツネ

河合静枝

西堀三鶴

松井浪子

加藤幾尾

大橋儀平

小川孝雄

田中由己

井関庄三郎

丸市喜好

橋本郡次

西村義夫

中西清三郎

海井喜代次

野・中主町野田
 近八・加茂町一八九〇
 近八・江頭町八二七
 長・一宮町二、二五
 栗・栗東町十里二二四、一
 大・尾花川一八、一二
 大・南郷二丁目三五、一三
 坂・米原町米原五七四
 東・虎姫町大寺
 彦・芹橋二丁目九、二三
 草・上笠町九九六

河瀬 義夫
 中村 弥平
 井狩 忠之
 勝本 嗣治
 仁科 政夫
 吉田 貞雄
 吉川 豊
 増田 正夫
 三家 久七
 児島 こと
 渡辺 進

〔昭和五十五年度役員〕

会 長
 副 会 長
 理 事

監 事
 幹 事

大橋 儀平
 田中 誠三
 熊谷 清一郎
 山本 由二郎
 西村 浅次
 田中 誠三
 園田 満寿
 山本 秋子
 大橋 儀平
 丸市 喜好
 周防 安次
 菅原 とみ
 田中 誠三
 国松 佐三郎

〔老大便り〕

老 大 の 沿 革

年・月・日	摘	要
S 53 ・ 7 ・ 14	滋賀県老人大学校開設 同 老人クラブ連合会に事業委託 第一期生公募 第一期生入学式 園芸学科二十名 生活科学科二十名 計八十名	学校長 武村 正義 (県知事) 副校長 中西 三郎 (県厚生部長) 県関係 西村 照明 (県老人福祉課長) 藤野利之助 (同課長補佐) 吉村 憲龍 (同専門員) 塩津 泰起 (同主事)
S 54 ・ 9 ・ 22	二学年制発足 第一期生修了式 二年制に進学者六十九名 第二期生入学式・始業式 園芸学科二十名 生活科学科二十名 計八十名	事務局 広瀬 亮誠 (事務局長) 坂 啓二 (同次長) 宮崎 洋子 国松佐三郎 長沢 綾子 北川 一郎 (現)
S 55 ・ 10 ・ 30	本年度より福祉学科にかわって、文芸学科を設ける。 第一期生卒業式 卒業者 男子 四十五名 女子 二十二名 計六十七名 第三期生入学式 園芸学科二十一名 陶芸学科二十名 生活科学科十八名 文芸学科二十一名 計八十名	

あとがき

創刊に際して、大学校長武村正義殿から玉稿をお寄せいただき、心温まるお力添えを賜りましたことを、会員皆さまとともに深く感謝申し上げます。老大会をこよなく愛し、老大会が県民生涯学習の殿堂として限りなく発展することを願望してやまない第一期卒業生の母校愛から、同窓会設立、会報創刊の事業が遂行したことは偉大であり、ご同慶の至りです。母校、同窓会が両輪となって県民福祉に貢献するうえに、この会報が大きく役立っていくよう、会員皆さまのご尽力をお願いします。編集へのご協力ありがとうございました。

(編集部記)

創刊号

昭和五十六年三月二十五日

発行 滋賀県老人大学校同窓会
印刷 吉田印刷所

全国260のサービスネット……

日本旅行

大津営業所

国内旅行は **赤い船**

海外旅行は **マツ**

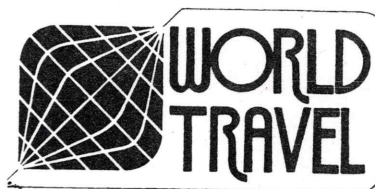
〒520 大津市春日町1-3
国鉄大津駅内

TEL.0775-22-8016(代)

運輸大臣登録一般旅行業第2号

旅行の御相談・お問合せは……

“旅する人々の身になって企画吟味する



ワールド トラベル

本社 〒520-01
大津市坂本本町2264
TEL(0775)79-2343(代)
1216

- A. 貸切観光バス ハイクラスからミニバスまで
- B. 各種手配 全国一流ホテル・ドライブインの斡旋
航空・国私鉄各種乗車券
一人旅から団体・新婚旅行セット
- C. その他 旅に関する一切の業務

片山観光株式会社

主催：滋賀県老人クラブ連合会

第3回

滋賀県老人の翼 ハワイ研修旅行

● 旅行期間 / 7月1日～7月6日 ● 総費用 / 260,000円

第11回 ヨーロッパ交歓旅行

● 旅行期間 / 11月1日～11月8日 ● 総費用 / 255,000円

県老連 海外交流サービス(株)
指定旅行社 (運輸大臣登録一般392号) 日本旅行業協会正会員)

〒530 大阪市北区梅田1丁目1番3-1200号
大阪駅前第3ビル12階 TEL(06)341-1201(代)

東北の旅 2泊 3日

- 旅行費用 34,800円
- 旅行出発日 6月26日, 27日, 29日
7月1日, 3日, 5日
- 募集人員 各班 90名 ~ 200名
- 旅行内容 1日目 飯坂温泉, 2日目 秋保温泉
見学地 [松島瑞巖寺, 五大堂, 青葉城等]
※往復新幹線利用

上記企画のお問合せ 及 申込みは下記へ

近畿日本ツーリスト(株)

大津営業所 TEL. 0775-22-1206

株式  会社

相互ツーリスト

本社 大津市坂本穴太町一丁目5-12
TEL 大津 (0775)78-0892
〒520 -01

みなさまに健康と幸福をもたらす 大韓民國政府・専売廳の “高麗蔘製品”

高麗紅蔘精 (朝鮮人蔘エキス) 30g (約1カ月分) 韓国専売品につき
高麗紅蔘粉 (朝鮮人蔘パウダー) 60g (約1カ月分) いづれも全国統一
高麗紅蔘粉カプセル 200cap (約1カ月分) 価格 9,000円です。

輸入元 日韓高麗人蔘株式会社
発売元 友豊商事株式会社
指定販売所 丸市薬局外商
滋賀県甲賀郡石部町・TEL 074877-2050

老化を防ぐ謎が解け始めた!

〔老 大 便 り〕

旅をとおして豊かな心を

お座敷列車で行く

雲上 3,000m 乗鞍山頂のご来光と
平湯温泉の旅

期 日 7月6日～7日

会 費 28,000円

行 程:

① 各地＝各駅 お座敷列車 下呂＝高山市内＝^{〒600}京都市下京区烏丸四条下ル(第五長谷ビル)
＝平湯

② 平湯＝高山市内＝下呂＝小牧＝各地

名鉄観光

075-351-0222

担当 齊藤・俣野



成功させよう

昭和56年

びわこ国体

水と緑にあふれる若さ

第36回国民体育大会滋賀県実行委員会



第17回
全国身体障害者スポーツ大会

わたしにもこんな力が生きがい

昭和56年
10月24日(土)25日(日)

第17回全国身体障害者スポーツ大会滋賀県実行委員会